



新入学児を交通事故から守りましょう！

4月は子ども達が新入学（園）の時期です。交通知識や交通社会に不慣れな子ども達が、安全に通行できるように、十分配慮した思いやり運転をして、みんなで子ども達を見守り交通事故から守りましょう。



ドライバーのみなさん

～特に生活道路では安全確認を徹底～

飛び出しに注意！！

子どもは、予期せぬ動きをする時があります。交差点や、右左折時は十分に安全確認をしましょう。子ども達を見かけたら速度を落とし、十分な距離を保ちましょう。



横断歩道は歩行者優先！！

横断歩道は、歩行者優先です。横断しようとする歩行者等がいる場合は、横断歩道の手前で、一時停止しましょう。また、横断歩道手前の追越し・追抜きは禁止です。



危険予測した運転を！！

通り慣れた道でも、【もしかして】と危険を予測した運転を心掛けましょう。駐車車両や渋滞車両の陰、電柱や植え込みなどの物陰にも目配りを！！



天候や時間に注意！！

雨天時は、歩行者やドライバーも視界が悪くなります。いつも以上にしっかりと安全確認をしましょう。また通勤時間や子ども達の登下校の時間帯にも注意が必要です。



保護者のみなさん

～子どもに教える交通安全のポイント～

子どもと一緒に通学路点検

子どもと一緒に、通学路や自宅付近を歩き、子どもの目線で危険箇所を確認しましょう。実際の場面で立ち止まる位置や、安全確認の方法を具体的に教えましょう。



道路の横断の仕方

交差点や横断歩道を渡る時は、すぐに渡らない。【止まる・見る・待つ】ことを教えましょう。前の人が歩き出してもすぐに续かず、自分の目で安全確認してから動くように教えましょう。



具体的に繰り返し教える

子どもは、「危ない」「注意なさい」など曖昧な言葉だけでは理解できません。子どもの理解力にあわせて、具体的な言葉で繰り返し教えてあげましょう。

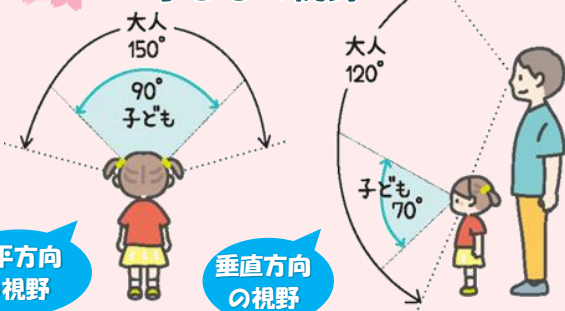


大人は子どものお手本

子どもは、大人のすることを見ている。身近にいる大人がルールを守り、安全な行動のお手本を示すことが大切です。



～子どもの視野～



～子どもの特性～



<見ていない>ではなく
【見えていない】



・子どもの目線で確認して教えましょう。
・頭を動かして、周りを見るように声かけを！！



花粉症が運転に与える影響

花粉症は、日本人の約4割が罹患している「国民病」の一つです。症状を緩和するため薬を服用すると、副作用等で正常な運転ができないおそれがあるので注意が必要です。花粉症に限らず薬の服用は、車の運転等が出来ない薬もあるので、不安がある場合は、医師や薬剤師に相談しましょう。



道路交通法第66条

「何人も、過労、病気、薬物の影響その他の理由により、正常な運転ができないおそれがある状態で車両等を運転してはならない」

症状が辛いときは無理をせず、運転をしないようにしましょう。

花粉症ドライバーが運転する際の対処

1. 乗る前に花粉を払う



2. エアコンは内気循環で



3. こまめに清掃



令和5年中の三重県内交通死亡事故発生状況(暫定値)

交通事故死者数 **66人**(令和4年より **+6人**)

◆高齢者 **33人**(構成率**50.0%**)※前年と比べ**8人**減少
・自動車乗車中12人、二輪車乗車中3人、自転車乗用中3人、歩行中15人

◆二輪車乗車中 **14人**(構成率**21.2%**)※前年と比べ**8人**増加
・自動二輪車乗車中11人、原付乗車中3人

◆交通弱者 **25人**(構成率**37.9%**)※前年と比べ**4人**減少
・歩行中18人、自転車乗用中7人

◆シートベルト非着用者 自動車乗用中の死者**27人**中非着用者**9人**(構成率**33.3%**)
・シートベルトを着用していれば助かった死者は7人と推定される

交通事故死者数
5年ぶりに増加

高齢者が
5割を占める

二輪乗車中の
死者が倍増



交通死亡事故の抑止を図るためには、交通情勢に即した交通安全教育は必要不可欠です。
「参加・体験・実践型」の交通安全研修を受講してみませんか？

お問い合わせはこちら

三重県交通安全研修センター

セーフティプラザみえ

◇ 開館時間 午前9:30～午後4:30 ☆ご利用には予約が必要です☆

◇ 休館日 土曜・日曜・祝日・年末年始(12/29～1/3)

< 所在地 > 津市垂水2566 三重県運転免許センター4階

< TEL > 059-224-7721 < FAX > 059-224-7641

ホームページ <http://www.safetyplaza-mie.com>

